

# 2017年度秋セメスタ一履修科目登録について (APS)

【2017年度カリキュラム日本語基準在学生用】

## 1. 成績

成績発表は、キャンパスターミナルの Campusmate の成績照会画面においてのみ行います。各自必ず単位の修得状況を確認し、次のセメスタ一の履修計画を立ててください。

成績発表日	2017年9月11日(月)10:00～
成績評価	A+:90%以上、A:89～80%、B:79～70%、C:69～60%、F:59%以下(不合格)、P:合格 ※F評価の場合、各自で再度当該科目の登録が可能です(自動登録される必修科目や演習科目などは不可)。
GPA ※Grade Point Average	履修科目登録の優先:GPA値により、履修科目登録A期間の開始日時が異なります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>通算 GPA:  <math display="block">\frac{[(A+\text{の単位数} \times 4) + (A\text{の単位数} \times 3) + (B\text{の単位数} \times 2) + (C\text{の単位数} \times 1) + (F\text{の単位数} \times 0)]}{\text{総登録単位数}(P \cdot T\text{評価除く})}</math> </li> <li>当該セメスタ一GPA:  <math display="block">\frac{[(A+\text{の単位数} \times 4) + (A\text{の単位数} \times 3) + (B\text{の単位数} \times 2) + (C\text{の単位数} \times 1) + (F\text{の単位数} \times 0)]}{\text{当該セメスタ一登録単位数}(P \cdot T\text{評価除く})}</math> </li> </ul>
成績発表	卒業対象生以外の成績発表日時:2017年9月11日(月)10:00 【成績通知書の配布】成績発表から7日間、アカデミック・オフィスにて配布します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>通知書配布希望の卒業対象生以外の学生は9月1日(金)～9月8日(金)16:30までに以下のURLから申請してください。  <a href="https://survey2.apu.ac.jp/limesurvey/index.php/659139?lang=ja">https://survey2.apu.ac.jp/limesurvey/index.php/659139?lang=ja</a>  事前申請をしていない学生は配布期間中にアカデミック・オフィス窓口にて申請して下さい(配布は翌日以降となります)。</li> <li>学生証を持参してください。</li> <li>受取りに来ない場合、通知書は1週間後に破棄します。</li> <li>成績通知書配布期間以後は、Campusmate で成績を確認してください。</li> </ul> ※セメスタ一末の約1～2週間は、学籍データの更新のため、証明書の発行を停止しますので注意してください。
成績 問い合わせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>問い合わせ期間: 成績発表日を含めて3日以内…2017年9月11日(月)～9月13日(水)16:30まで</li> <li>受付内容: <ol style="list-style-type: none"> <li>履修科目登録をしているのに成績がのっていない</li> <li>登録されていない科目の成績がのっている</li> <li>成績通知書にエラーがある場合</li> <li>その他、成績が明らかに間違っていると考えられる場合</li> </ol> </li> <li>注意 <ul style="list-style-type: none"> <li>担当教員に直接問い合わせることはできません。評価内容については成績講評を参照してください。</li> <li>問合せ方法などの詳細はアカデミック・オフィスホームページ「成績」のページで確認をしてください。</li> </ul> </li> </ul>
同一科目 再履修制度	成績(A+、A、B、C)がついた科目を再度履修できる制度があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>申請期間: 9月11日(月)～9月13日(水)16:30</li> <li>申請方法: 同一科目再履修申請オンラインフォームより申請</li> <li>アクセス方法: アカデミック・オフィスホームページ「履修」→「事前申請科目」→「同一科目再履修」</li> </ul>

注意:成績について担当教員へ直接問い合わせることはできません。評価内容については成績講評を参照してください

**■ サンプル 卒業要件コード: APS17JST**

\*入学基準言語や英語の履修トピックによって「必要単位」や「各個人の必要単位数」は異なります。

\*こちらは学修分野の選択例に表示される画面です。

※A  
選択した学修分野に必修科目が2科目あり、2科目とも修得した場合、4単位のうち2単位は「②●●(学修分野)必修共通教養科目」分野、残りの2単位は「③共通教養科目」分野に集計されます。各学修分野の必修科目は、「2.2.4 コア科目、各学修分野の必修科目(APS)」を確認してください。

※D  
プレイスメントテスト等の結果により必修言語科目(①)の履修が免除された場合、免除された単位数分の科目を「④言語教育科目および共通教養科目」分野で修得する必要があります。

※E  
卒業するために修得しなければならない単位数。

※F  
修得した単位数。①②③⑤は「各個人の必要単位」を上回ることはありません。(※A~C参照)

分野系列名	必要単位	履修免除 (-)	履修免除 (+)	各個人の必要単位	反対言語の修得単位	修得単位
① 英語	24	-6		18		① 18
② ●●(学修分野)必修共通教養科目	2			2		② 2
③ 共通教養科目	14			14	4	③ 14
④ 言語教育科目および共通教養科目			+6	6		④ 10
⑤ ●●(学修分野)専門教育科目	28			28		⑤ 28
⑥ APS専門教育科目	34			34	10	⑥ 40
⑦ 他学部科目					4	⑦ 10
⑧ 合計	124			124	18	⑧ 122
要卒集計外科目						

※B  
「③共通教養科目」分野の修得単位数が14を超える場合、超過分は「④言語教育科目および共通教養科目」分野に集計されます。

※C  
「⑤●●(学修分野)専門教育科目」分野の修得単位数が28を超える場合、超過分は「⑥APS専門教育科目」分野に集計されます。各学修分野の科目は、「2.2.14 2017年度カリキュラム図」および「2.2.15 2017年度カリキュラム科目一覧」を確認してください。

※G  
「⑧合計」分野の単位数は、①~⑦の修得単位数の合計を指します。

※H  
「日本語基準国内学生」および「早期卒業プログラム学生」は、卒業するために、入学基準言語と反対の言語で開講される共通教養科目もしくは専門教育科目(自学部および他学部科目)を20単位以上修得する必要があります。言語教育科目や両言語開講科目(E/J)は、反対言語による開講科目とは認められません。

学部履修ハンドブック p.47

## 2. 履修科目登録

### 2.1 履修科目登録について

- 履修科目登録とは、各自が受講しようとする授業科目を登録する手続きで、その意思表示をすることです。履修計画を決める上で最も重要な手続きであり、授業を受けること、単位の修得および卒業には欠かすことのできないものです。各自の履修計画を円滑に進めるために細心の注意を払って科目の登録を行ってください。受講の意思なく登録だけをしておくことは、本当に学修したい人の受講を妨げることとなりますので、絶対に行わないでください。
- シラバスは Web 上で閲覧可能です。受講する科目を決める前に必ずシラバスを確認してください。
- 登録や削除などの変更を行う場合、必ず申請ボタンを押して、登録を完了してください。完了後は、必ず「管理番号」が記載されている「履修登録確認表」を保管しておいてください。管理番号が記載された履修登録確認表がないとシステムエラーの確認などの相談に応じることができません。また、いつの時点の履修登録確認表かわかるように日時等を記録しておいてください。

### 2.2 科目のグレード番号

各科目にはグレード番号が付番されています(「学部履修ハンドブック」pp.60-73 参照)。演習科目など、指定された科目を除けば、対象とされる回生以上で履修可能です。

グレード番号	100 番台	200 番台	300 番台	400 番台
概要	1 回生向けの科目	2 回生向けの科目	3 回生向けの科目	4 回生向けの科目

### 2.3 履修科目登録期間について

A 期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>「言語教育科目」、「共通教養科目(例外あり:2.5参照)」、「専門教育科目(自学部科目のみ)」の登録が可能です。</li> <li>A 期間は学部によって登録開始日時が異なります。自学部期間以外は一切履修科目登録が出来ません。</li> <li>A 期間に両学部の学生が登録可能な「言語教育科目」と「共通教養科目」は、各学部の学生数によって定員・クラスを配分します。A 期間後に残定員がある科目・クラスは、B 期間および修正期間に両学部の学生が登録可能となります。</li> </ul>
B 期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>全科目の登録が可能です。</li> <li>他学部の科目は2回生から登録可能となります。</li> </ul>
修正期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>すでに授業が始まった開講期間の科目は取消しのみ可能です。</li> </ul>



期間	セメスター科目	第1クォーター科目	第2クォーター科目	セッション科目
A 期間	登録・取消	登録・取消	登録・取消	登録・取消
B 期間	登録・取消	登録・取消	登録・取消	登録・取消
修正期間1(第1クォーター)	取消	取消	登録・取消	登録・取消
修正期間2(第2クォーター)	修正不可	修正不可	取消	登録・取消

### 2.4 2017年度秋セメスター履修科目登録スケジュール

期間	対象		履修科目登録開始		履修科目登録終了	
			日付	時間	日付	時間
A 期間 通算 GPA or 当該 GPA 3.00 以上…優先1 2.50 以上…優先2	APM	優先1	9月19日(火)	9:30	9月20日(水)	12:00
		優先2		12:30		
		通常		15:30		
	APS	優先1	9月21日(木)	9:30	9月22日(金)	12:00
		優先2		12:30		
		通常		15:30		
B 期間	新入生/復・再入学生		10月2日(月)	10:00	10月3日(火)	12:00
	在学生			15:00		
修正期間1	全学生		10月12日(木)	10:00	10月13日(金)	10:00
修正期間2	全学生		12月7日(木)	10:00	12月8日(金)	10:00

- Campusmate は毎日 3:00am - 5:00am(日本時間)の間は一切使用できません。
- スケジュールは 24 時間表記です。12:00 は正午を示しますので、開始・終了時刻に注意してください。
- 不測の事態に際し、履修開始時間の変更される場合があります。
- 履修科目登録は学外端末からも可能ですが、ネットワーク接続状況によりアクセスに時間がかかる場合があります。学内端末の利用を推奨します。

### 2.5 A 期間に APS 学生は登録できない共通教養科目 (= APM の必修科目)

経済学入門	統計学
-------	-----

### 2.6 履修科目登録期間に開放する教室・時間

履修科目登録を行う際は、Campusmate 履修科目登録マニュアルで注意点等を確認してください。

日程	教室	時間
9月19日(火)	IPS 1-6	9:00-16:30
9月20日(水)	IPS 3-6	9:00-12:00
9月21日(木)	IPS 1-6	9:00-16:30
9月22日(金)	IPS 3-6	9:00-12:00
10月2日(月)	IPS 1-6	9:00-16:30
10月3日(火)	IPS 3-6	9:00-12:00

### 3. APS 学修分野

#### ■ 学修分野の登録・修正(第2セメスター～第6セメスター、修正期間2のみ)

2017年度カリキュラムのAPS学生は、自身の選択した学修分野の必修科目(共通教養科目)を2単位以上、同分野の専門科目を28単位以上修得することが卒業要件の一つとして定められています。「APS 入門」の内容などを基に、選択したい学修分野を考え、第2セメスターの履修登録修正期間2にCampusmateを通じて学修分野の登録をしましょう。第6セメスターの修正期間2まで分野変更は可能ですが、早期に学修分野を決定し計画的に科目を修得していくことを推奨します。

A) 学修分野	B) 学修分野必修科目(共通教養科目)	C) 学修分野の専門教育科目 ※
以下の4つの学修分野から学修したい分野を1つ選択し、修正期間2で登録します。6セメスターの修正期間2まで分野の登録・変更が可能です。	卒業するためには、自身が登録した学修分野の必修科目(共通教養科目)を <b>2単位以上</b> 修得する必要があります。	卒業するためには、自身が登録した学修分野の専門教育科目を <b>28単位以上</b> 修得する必要があります。
環境・開発	環境学入門 (2単位)	28単位以上修得
	開発学入門 (2単位)	
観光学	観光学入門 (2単位)	28単位以上修得
国際関係	国際関係論入門 (2単位)	28単位以上修得
文化・社会・メディア	文化・社会学入門 (2単位)	28単位以上修得
	メディア入門 (2単位)	

※各学修分野の専門教育科目については、学部履修ハンドブック p.60-61 を確認してください。

#### APS 卒業要件確認表

No.	卒業要件	APS17JST	APS17JAT	APS17E
1	合計 124 単位以上修得している	○	○	○
2	言語必修科目の単位を全て修得している(もしくは履修免除されている)	○	○	○
3	各科目分野の必要単位数を修得している	○	○	○
4	英語開講科目を 20 単位以上修得している ※日本語基準国内学生のみ適用	○	○	—
5	自身が選択した学修分野の必修科目(共通教養科目)を 2 単位以上修得している	○	○	○
6	自身が選択した学修分野の専門教育科目を 28 単位以上修得している	○	○	○

### 4. APS コア科目

下記の 2 科目を修得することにより、APS の理念と目的を知ることができます。1 年生の間に両方の科目を修得することが強く推奨されています。なお、下表の通り「APS 入門」は大学によって自動的に登録されますが、「地域研究入門」は、履修する場合は学生が自身で登録する必要があります。

科目名	APS 入門	地域研究入門
科目分野	APS 専門教育科目	
登録	自動登録	学生による登録
大学による登録時期	日本語基準学生: 1 回生の春セメスター	

注意: これらのコア科目は卒業に必要な必修科目ではありません。

## 5. 履修科目登録で特に注意が必要な科目

学生のカリキュラムやセメスターによって履修科目登録のできない科目があります。学部履修ハンドブック(p.108~p.112) やシラバスを必ず確認して下さい。

### ■ 英語科目

- 英語科目(必修科目)では各レベルにA(4単位)とB(2単位)の2つの科目があり、それぞれの科目の成績評価基準に基づき成績が付与されます。各レベルのAとBの2科目(合計6単位)を単位修得してはじめて次のレベルの英語科目の履修が可能です。
- 各トラックにおける英語必修科目は、単位修得をし終えるまで、自動的に大学がクラス指定をします。同じレベルの科目であっても時間割や担当教員が異なる場合がありますが、全て大学が指定をしますので、クラス変更や履修取消しはできません。
- 2017年度秋セメスターに開講予定の専修言語科目は下記の通りです。

#### 英語スタンダードトラック専修言語科目

科目(クラス)	担当教員	注意事項(2017年度カリキュラム学生対象)
英語ビジネス・プレゼンテーション CS	PHILLIPS, Michael	日本語基準、英語スタンダードトラックの学生で英語準上級A・B(6単位)をすでに単位修得済みの学生 ※履修科目登録期間Aより登録可能
英語プロジェクト1 CC	BEUCKENS Todd	
ジャーナリズムのための英語 CS	MEDLEY, Nicholas	

#### 英語アドバンストラック専修言語科目

科目(クラス)	担当教員	注意事項(2017年度カリキュラム学生対象)
ビジネス英語2 CC	PHILLIPS, Michael	① アドバンストラックの日本語基準学生で英語上級1A・1B(6単位)をすでに単位修得済みまたは履修免除を受けている場合 → 履修科目登録期間Aより登録可能 ② スタンダードトラックの日本語基準学生で英語上級1A・1B(6単位)をすでに単位修得済みまたは履修免除を受けている → 場合履修科目登録期間Bで登録可能 (定員に空きがある場合に限る)
英語プロジェクト2 CC	MILLER, Nicholas	
メディアのなかの英語 CC	DAVILA, Gilder	

- スタンダードトラックの専修言語は、英語科目(必修科目)を修了した学生がさらに高度な言語能力の向上を目指すために設けられています。
- スタンダードトラックの日本語基準学生は、「英語準上級A・B」の単位修得後、アドバンストラックの英語科目の履修が可能です。ただし、アドバンストラックの履修開始レベルは「英語上級1A・1B」からです。また、履修科目登録はB期間において定員に空きがある場合のみ可能です。

### ■ 日本語科目

- 日本語必修科目は、単位修得をし終えるまで、自動的に大学がクラス指定をします。同じレベルの科目であっても時間割や担当教員が異なる場合がありますが、全て大学が指定をしますので、クラス変更や科目取消はできません。
- 専修言語は、卒業に必要な日本語を修了した学生がさらに高度な言語能力の向上を目指すために設けられています。それぞれの科目に前提科目や受講の目安が設けられていますので、詳しくはシラバスとアカデミック・オフィスホームページのハンドブックの項目を参照してください。

### ■ AP 言語科目

以下条件を満たした場合、履修科目登録期間中に各自で登録が可能です。(なお、韓国語は成績評価にハングル能力検定試験の受験による評価が含まれています。ハングル能力検定試験の申し込み期限は10月4日(水)16時30分です。韓国語の履修を希望する学生は注意してください。)

- 登録する言語が母語でないこと。母語学生が登録をしている場合、大学が削除をします。

日本語基準学生:「英語初級A・B」、英語基準学生:「日本語初級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を単位修得済みあるいは履修免除済みであること。

## ■ 事前申請

成績は、発表日以降、各自 Campusmate で確認できます。成績通知書が必要な場合は、下記要項に従って手続きしてください。

項目	対象カリキュラム	対象学生	申請期間
同一科目 再履修申請	2011 年度・2017 年度 カリキュラム学生	2017 年度秋セメスター開講の講義科目の再履修を希望する学生(F評価の場合は申請不要)。 詳細は9月上旬にアカデミック・オフィスウェブサイトを確認してください。	9月11日(月)～ 9月13日(水)16:30
日本語・英語科目 履修免除・単位授与	2017 年度 カリキュラム学生	①在学中に大学が指定する条件を満たす学生。 ②交換留学中または休学中に大学が指定する条件を満たす学生。 詳細は、アカデミック・オフィスのホームページを確認してください。	①と②でそれぞれ申請期間が異なるので、必ずアカデミック・オフィスのホームページで確認をしてください。

## ■英語開講科目 20 単位以上修得

- 日本語基準国内学生は、英語で開講される共通教養科目もしくは専門教育科目(自学部および他学部科目)を20単位以上修得することが卒業要件の1つです。言語教育科目や両言語開講科目(E/J)は英語開講科目として認められません。英語開講科目の受講条件は、スタンダードトラック学生は「英語中級 A・B」が単位修得済もしくは履修免除されていること、アドバンストラックの学生は特別な条件なく第1セメスターから英語開講科目の登録が可能です。  
(※日本語基準国際学生は、この英語開講科目 20 単位以上の修得という要件を満たす必要はありません。)
- APSブリッジプログラム…英語開講科目としてみなされます。スタンダードトラックの日本語基準国内学生のみが受講可能です。受講可能時期は、「英語中級」および「英語準上級」のいずれかのクラスを受講するセメスターのみです。

## 6. その他

不測の事態により上記の履修科目登録日やガイダンス日程が変更になる場合があります。履修科目登録に関する重要なお知らせはキャンパス・ターミナルの「大学からの情報」や Campusmate の「お知らせ」にて行いますので休暇中も必ずこれらを確認するようにしてください。また、「あなた宛の重要なお知らせ」やメールで個人宛にお知らせを送付する場合がありますので、併せて確認するようにしてください。

## 7. 2017 年度秋セメスター授業開始日

2017 年度秋セメスターの授業開始日:10月4日(水)

授業開始に備え、アカデミック・オフィス HP,キャンパスターミナルやメールなどのお知らせを確認してください。

アカデミック・オフィス

窓口時間: 平日 10:00~16:30 (火のみ 11:30~16:30) Email: [acsubmit@apu.ac.jp](mailto:acsubmit@apu.ac.jp)